

治験管理室便り No.18

2019年11月



皆さまは治験に参加するとどのようなことがあるのか疑問に思ったことはありませんか？

今回は、「治験の良いこと、心配なこと」についてお伝えします。



○治験の良いこと



最新の医療を受けるチャンス！

- ・ 治験に参加することによって、最先端の治療を受けるチャンスが得られます。

費用の負担が軽減されます

- ・ 治験のための来院ごとに一定の費用が支給され、治験薬投与中の検査費用は製薬会社が負担をします。

社会貢献度が高い！！

- ・ 新しい治療方法の開発に協力することで、ご自身と同じような病気で悩んでいる方々の助けになります。



治験参加中にはルールがある

- ・ 患者様の安全の確保と信頼できるデータを得るために、患者様に守って頂くルールがいくつかあります。

○治験の心配なこと



治験薬を使えないこともある

- ・ 治験によっては全員が治験薬を使えるとは限りません。その場合でも、標準的な治療を受けることができます。

未知の副作用が起こることがある

- ・ 治験は開発段階のため、これまでに知られていなかった副作用が起こることがあります。

治験の良いこと、心配なことは、治験の内容や参加する方によって異なります。必ず医師、治験コーディネーター(CRC)から説明がありますので、きちんと理解することが大切です。

ここで、治験にまつわる「なぞかけ」をしてみます。関心を持って治験を受ける人とかけて、金属と解きます。さんか（参加・酸化）するといつか還元されるでしょう。ありがとうございました。 治験コーディネーター2年目 ひろはる君



引き続き皆様に治験についての情報をお届けしたいと考えております。治験管理室便りを今後ともよろしくお願い致します。